

## くされ縁(女ver.)【声劇】

作・小佐部明広

### 【登場人物】

明美

陽子

明美の部屋。

明美が電話で話している。

明美 もしもしユウ君。うんうん、あー電車遅れちゃった？ あ、先始めていいの？ うん。……ああ、ヨウコ来てるよ、今トイレ。うん、じゃあね、先始めてるよー、はい、

明美、電話を切る。

陽子が現れる。

陽子 (すっきりした感じで) ふー。電話？

明美 ユウ君。

陽子 お。

明美 電車一本乗り逃して10分くらい遅刻だって。

陽子 そっか。早く会いたいなあ。

明美 ヨウコ何年ぶり？ ユウ君と会うの。

陽子 高校以来だから、8年？

明美 うわー、そんななるかー。

陽子 っていうか、この前アケミと会ったのだって8年ぶりだからね。

明美 ね。病院で会うなんてね。「ハシダ、ヨウコさーん」て呼ばれてんの聞いて、まさかって思ったら、

陽子 私もあるところでアケミに会うと思ってなかったよ。つか、アケミ、ほんと変わったよね。

明美 言われる。高校んときちよつと太ってたから。

陽子 にしてもずいぶん変わったよ。

明美 ヨウコもけっこう変わったよ。

陽子 やっぱ8年も経つと、人間変わるんですな。

明美 よし、飲むか。

陽子 ユウ君は？

明美 先飲んでていいって。

陽子 ふうん、

明美 そうそう、今日は久々に三人集まるってことで、ちよつといいもん用意してきたよ。

陽子 お、実は私もいいもん用意してきたんだよね。

明美 マジ？　じゃあせーので出してみよ？

陽子 いいよ。

明美 せーの、

明美 じゃーん、大吟醸ー！

間。「ふー……」「ふうん……」など溜息。

明美 なんか、私とヨウコってこういうところあったよね、

陽子 そうだっけ？

明美 「かぶる」んだよ。

陽子 ああ、

明美 ……ヨウコ、昨日の夜、何食べた？

陽子 カレー。

明美 私もカレー。

陽子 うわっ。

明美 おとといは？

陽子 （少し考えて思い出す）かつ丼。

明美 かつ丼。

陽子・明美 うわー。

明美 三日前は。

陽子 （思い出そうとして）もう覚えてない。

明美 私も覚えてない。

陽子・明美 うわー。

明美 高校るときからそう、なにかと「かぶる」んだよ私

たち。

陽子 そう？

明美 そうだよ。高1るときだって、夏休みに遊園地行

ったら、ヨウコの家族と会ったし、

陽子 あー、

明美 その次の正月だって、初詣でヨウコと会っちゃったし、

陽子 はいはい、

明美 修学旅行るときみんな私服じゃん？　そんなとき全

く同じ服着ててペアルックみたいになっちゃってさ、

陽子 あー、言われてみればあったかも。

明美 それからしばらく、私たち付き合ってたんじゃないかっていう噂流れたからね。

陽子 マジで？

明美 高校卒業した直後も、何度か会ったことあったし、

陽子 そうだっけ、

明美 そうだよ、あんた一回デート中に会って気まずかったんだからね、

陽子 なことあったっけ？

明美 せっかくいい雰囲気だったのにぶち壊してくれやがってさ。あのあと別れることになったんだからね。

陽子 うわー覚えてない、

明美 私は死ぬまで忘れない。

陽子 まあ、くされ縁みたいなものだよ。

明美 まあね、

陽子 でも、8年経って結局またこうやって出会ってるわけだし、なにかと縁があるんだな私とアケミは。

明美 私は嫌だけどね。

陽子 今は？ 彼氏とかいるの？

明美 ふっふっふっふ。

陽子 え、なに「ふっふっふっふ」って。リアルで言うてる奴初めて見た。

明美 そろそろ結婚するのです。

陽子 えっ？ アケミが？

明美 三年付き合ってる彼氏と。

陽子 マジか、いいな。え、どんな人なの？ なんて名前？ 歳は？ 仕事は？ かつこいい？

明美 いっぺんに聞くなよ。

陽子 じゃあ名前名前。

明美 ええ？

陽子 なんだよ教えろよ。

明美 恥ずかしいよ。

陽子 なんだよ気持ちわりいな。じゃあなんて呼んでんの？ その人のことなんて呼んでんの？

明美 (恥ずかしそうに) とつつあん。

陽子 ……なんか、銭形のとつつあんみたい。

明美 名前に「と」入ってるの。

陽子 へー、「トオル」とか「トシオ」とかってこと？

明美 まあまあ、

陽子 かつこいい？

明美 (照れて) ……かつこいい。

陽子 うわあマジかマジかあ！ (真剣に) あんた絶対騙されてるよ……。

明美 なんでだよ、

陽子 そんないい男、アケミと付き合わないよ。

明美 失礼でしょ。

陽子 目え覚ませよ。

明美 私にもそんならしいの男できんの。

陽子 えーマジかマジか、写真は写真？

明美 ない。

陽子 ないの？

明美 写真撮られんの嫌がんだよ。

陽子 あーいるよねそういう男。私の彼氏もそうなんだよ。

明美 (かなり驚いて) 彼氏いんの？

陽子 まあねー。

明美 えどんな人どんな人？ なんて名前？ 歳は？ かつこいい？

陽子 いっぺんに聞かないで。

明美 じゃあ名前名前、

陽子 ええ？

明美 あんたも恥ずかしいんじゃないよ、いいいいよ、な

んて呼んでんの？

陽子 （恥ずかしそうに） あつちゃん。

明美 なに恥ずかしがってんだよ。え、なんの仕事してんの？

陽子 いやいやそんな大した……、

明美 いいからいいから、

陽子 まあ、

明美 うん、

陽子 パチプロ？

明美 ……、

陽子 トータルマイナスらしいけど。

明美 ……ああー……なるほどねえ……、

間。

明美 それにしても懐かしいね、高校時代。

陽子 早く会いたいなあユウ君、

明美 私、ときどき会うんだけどさ、ユウ君変わってな

いよ。あのかっこかわいいまんま。あれに大人っぽさ

がプラスされた感じ？

陽子 最強じゃねえかよ！

明美 そうなのそうなの。そろそろ来てもいい時間んな

んだけど、

陽子 ……今だから言うけどさ。

明美 なに？

陽子 私、実はユウ君と付き合ってたんだよね。

明美 ……は？

陽子 意外でしょ？ 実は付き合ってたんだよね、高校  
るとき。

明美 いやいや、え？ マジで言ってるの？

陽子 マジマジ。びっくりしたでしょ？

明美 いやいや、ないない絶対ない。何言ってるんのお前、  
バカじゃねーの、失せるカスが。

陽子 否定しすぎだろお前。最後失せるカスって言った  
よ。

明美 だってあんたクラスの超絶人気者のユウ君よ。ヨ

ウコと付き合うなんてあるわけないじゃん。

陽子 いやいやホントホント。

明美 ……えいつ？ いつ付き合ってたの？

陽子 高3の夏休み明けから卒業までだよ。

明美 ないない。

陽子 なんて、私が付き合ってたって言うてんじやん。

明美 ありえないね。高2の冬から私と付き合ってたん

だから。

陽子 ……は？ ……いやいや、え？ いつまで？

明美 卒業まで。

陽子 いやいやありえないありえない、ユウ君卒業まで  
私と付き合ってたから。

明美 ……。  
陽子 え？

明美、落ち込む。

明美 ウソ……。

陽子 ……マジか、

明美 (気づく) うわ、

陽子 なんだよ？

明美 またヨウコとかぶった？

陽子 うわ、かぶった、

明美 こんなとこまでかぶせてくんなよ……。

陽子 私だっつかぶりたくないよ……

少し間。

陽子 ……これからユウ君来んだよね？

明美 ……おお、

陽子 ちょっと問い詰めない……？

明美 え、どうすんの、だって、本当に二股だったら。

陽子 知らないよ、怒ればいんだよ、「こらーっ！」「なん  
か上手く怒れていないので違う起こり方」「こらーっ！」って。

明美 怒り方変だよ。

陽子 知らないけど、謝ってもらえないじゃん。

明美 だよな、やっぱそうだよな。

陽子、大声で何度も「こらーっ！」の練習。

明美も「こらーっ！」の見本を見せようとするが、やはり変な感じになってしまう。

チャイムの音。

陽子 え、ユウ君じゃない？

明美 ……ちよつと行ってくるわ、

陽子 おう、最初はなにげなくね、なにげなく、「お、お

う、ユウ君どうしたの？」みたいな、

明美 なんて偶然なんだよ、来ることになってんじゃない、

中村 なんでもいいから、ね、なにげなく。

明美、去る。

陽子 くそ、どうしよう……、「こらーっ！」「ハ、ハ、ハ」  
らーっ！」

明美、素早く戻ってきて陽子の口を塞ぐ。

明美 ちよつと陽子、陽子、静かして。

陽子 ……な、なに。ユウ君は？

明美 ユウ君じゃなかった。  
陽子 は？ じゃあ誰？  
明美 隣の人。うるさいって。  
陽子 あ……、

間。

陽子 ……ん、ちよつと待て。アケミ、付き合い始めたの  
いつって言った？

明美 え？ 高2の冬だけだ。

陽子 高3の夏休み明けから会ってた？

明美 いや、受験勉強忙しかったしあんまり。

陽子 ……アケミさあ、……実は別れてたんじゃない？

明美 は？

陽子 アケミと別れて私と付き合い合ったんじゃないの？

明美 ……はあ？ 別れてないし。

陽子 アケミの中ではそうかもしれないけど、ユウ君の  
中ではもう別れてたんだよ。

明美 いやいや……、

陽子 いずれにしてもだよ、高3の夏休み明けに私と付  
き合ってるってことはね、アケミはその時点で飽きら  
れてたってことじゃないの？

明美 ……ええ？

陽子 まあユウ君も、アケミより私の方がいいって気づ

いたんだろうね。

明美 それはない、絶対にありえない。

陽子 アケミより私のほうがいい女だし。

明美 ありえねえし。私のほうがいい女だし。

陽子 バカじゃない？

明美 バカじゃないし、私のほうがカワイイし頭いいし。  
イケメンと付き合えるくらいいい女だし。

陽子 それがありえないんだって。どうせイケメン彼氏  
とか見栄張ってるけど大したことないんでしょ？

明美 はあ？ 大したことあるし。カッコイイし！

中村 はあ？ じゃあちよつと特徴言ってみなよ、似顔  
絵作ってやるから。

明美 ヨウコ絵下手じゃん。

陽子 あんだよそういうアプリが。（スマホを操作する）ほ  
ら、顔どんな形？

明美 は？

陽子 どんな形？

明美 形とか言われても。

陽子 選べよこつから。

明美 ……これ。

陽子 目は？

明美 これかな。

陽子 おう、鼻は？

明美 しゅつとしてる。

陽子 口びるは？  
明美 薄めかな。  
陽子 おう、髪は？  
明美 ツーブロック。  
陽子 ……なんか私の彼氏と似てんな。  
明美 ……。  
陽子 え、あのさあ、口元にホクロない？  
明美 あるある。  
陽子 私の彼氏もある。  
明美 ……え？  
陽子 ……いやいや、まさか。  
明美 八重歯じゃない？  
陽子 うん、ヤエバ。  
明美 ……。  
陽子 ……やめてよマジ、こんとこまでかぶってくんないよ。  
暁美 こっちだってかぶりたくないよ、  
陽子 え、じゃ、じゃ、じゃあこれは？ 首筋にやけどの跡。  
明美 あ、ない、ないよそんなの、ない！  
陽子 マジ？ マジ？  
明美 うん、ないよ。よかった、ない！  
陽子 私の彼氏もないんだよ。  
明美 ねえのかよ！ ねえなら言うなよ！

陽子 え、名前は？ 名前？ アケミさつきとつっあん  
て言つてたよね。名前、「トオル」とか「トシオ」とか  
でしょ？  
明美 ううん、アキト。  
陽子 ……うわうわうわ、  
明美 え、だってヨウコあっちゃんって、あ……、  
陽子 アキトだよ、私の彼氏もあきと、  
明美 いやいやいや、  
陽子 マジ、私こんなとこまでかぶりたくないよ、  
明美 苗字違うでしょ苗字、  
陽子 待って待って、……よし、じゃあせーの言おう、  
せーので、  
明美 せーの、  
陽子 待って待って、まだ準備できてない、  
明美 準備もなにもないじゃん、  
陽子 心の準備でしょ、  
明美 知らないよ、せーの、  
陽子 待って待って、落ち着こう、  
明美 落ち着いてらんないよ、  
陽子 やめよ、知らなきゃいいこともある、  
明美 まだ同一人物かどうかかわかんないじゃん、とつっ  
あんはそんな、二股するような男じゃないよ、  
陽子 本当やめよう、  
明美 やだ、せーの言えよ、

陽子 勘弁して……、

明美 いくよ、言えよ、絶対言えよ、

陽子 ……わかったよお、

明美 せーの、

明美・陽子 サイトウ。あーっ！！

間。

明美 ……は？ え？ どういうこと？ え？ だって

私結婚すんだよ？

陽子 知らねーよ……、

明美 いやいやありえないって、とつつあんはそんなやつじゃないって、

陽子 そうだよ、あっちゃんだってそんなやつじゃないよ、

明美 こんなとこまでかぶせてくんない……、

陽子 私だってやだよこんなの……、

少し間。

陽子 どうすんだよ。

明美 どうするったって、別れるしかないでしょ、

陽子 だよね……。

明美 ……くそ、悲しいの通り越してムカついてきた。

陽子 私も。

明美 ちよつととつつあんに電話するわ。

陽子 おう、途中で私にも代わってくれよ。

明美 ああ。

明美、電話をかける。

明美 ……もしもし、とつつあん？ ……うん、あんた

にききたいことあんだけど。……あんた二股してるよね？ ……「え？」じゃなくて、ヨウコと二股してるよね？ ……こっちは証拠があがってんだよ。騙しやが

ってさあ。クソがよ！ ヨウコに代わるわ。

陽子 あっちゃんさあ、マジがっかりだわ。二度を顔見せんなカスが。あん？ 誰じゃねえよ橋田陽子だよ。

びつくりした？ まさか私がアケミと知り合いなんて思わないもんね？ ……あん？ うるせえよ、失せろ、

バーカ！（明美に電話を渡す）

明美 お前との結婚なんかこつちから願い下げだからな！ 二度とそのツラ見せんじゃねえぞ！（電話を切る）

ひどく落ち込んでいる二人。

明美 あーくそ！

陽子 くそっ……。



明美　ほんとくそだ……、  
陽子　くそっ……別人だった……、

かなり長い間。

明美　……うん？

陽子　私の彼氏じゃなかった、

間。

陽子　私の彼氏あんな声とか喋り方じゃないわ。全然違う。  
う。

間。

陽子　え、あつとってどんな字？

明美　重篤の「とく」に北斗の「と」。

陽子　あ、私の彼氏、「あつい」に「ひと」。

少し間。

明美　てめ、

明美、「一発殴る、一発殴る」など陽子を殺しにかかる。

陽子、「待って待って、暴力反対」など必死の抵抗。  
そこに電話の着信音。

明美　とつつあんからだ！

明美、電話に出る。

明美　もしもしとつつあん？　ごめんごめんごめん、違う、さっきの違う、全然ほんと違う、ね？　うん、別れない、違うんだよ、とつつあん、とつつあーん！

電話は切れる。

陽子　なんだって？

明美　もう二度と会わないって。

陽子　だろうね。

明美　殺す、

明美、「このやろ、てめ」など陽子を殺しにかかる。

陽子、「待て待て、暴力反対」など必死の抵抗。

明美　くそ、ちよつとそこで待ってろ。

陽子　ちよ、どこ行くんだよ。

明美、いったん奥へ行き、包丁を持ってくる。

明美 いやあ、ちょうど先週新しい包丁買ったところだったんだよ。

陽子 タイムタイムタイム、落ち着こ、落ち着こ。

明美 落ち着いてるよ。

チャイムの音。

明美 うっせえ！ 殺すぞ！

陽子 ユウ君じゃないの？

明美 そうだ、あいつも問い詰めなきやいけないんだ。

陽子 待って待って。

玄関へ去る。

明美の声 ユウ君さあ、お前高校るときハシダヨウコと付き合ってたらしいじゃん？ ええ？ 二股だろうが二股。おい、知らねえじゃねえんだよ！ 本当のこと言うまで、この家入れねえからな！ 入ってきたら刺し殺すからな！ わかったな！

明美、戻ってくる。

陽子 アケミ怖いよ。

明美 うっせえ、ユウ君に裏切られて、とつつあんにも振られて、全部でめえのせいだからな。ヨウコを殺して私も死ぬ。

陽子 落ち着けって。

明美 ついでにユウ君も殺す。

陽子 ユウ君は関係ないじゃん。

明美 あいつは私を裏切ったんだよ。

陽子 待ってって、ユウタ君は巻き込まないで。

少し間。

明美 ユウタ君？

陽子 なに。

明美 誰ユウタ君って？

陽子 は？ さっきから話してんじゃん。同級生だった

堂本ユウタくん、

明美 は？

陽子 え？

明美 ユウキ翔平くんでしょ。

陽子 誰？

明美 え？

やや間。

陽子 え、あの、明美だよな？

明美 明美だよ。

陽子 だよな？ 工藤明美だよな？

明美 え？

陽子 え？

明美 中田明美ですけど。

陽子 ……。

明美 え、ハシダヨウコだよな。

陽子 うん、橋田陽子。

明美 洋服の「よう」に子供の「こ」でヨウコだよな？

陽子 え？

明美 え？

陽子 太陽の「よう」……。

明美 え、西高だよな？

陽子 東高。

間。

なんか、かなり気まずい二人。

二人とも、「あ、あ、へへ、どうも、はじめまして」などと言  
いながら、会釈したり。

二人はどうしていいかわかならず気まずいまま、ゆつくりと照  
明が落ちていく。